

「やるべきときにやらなければならない」

この当たり前のことを嫌々でもやるか、そこから逃げるか、

それが分かれ道だ！

今回は、まず先輩の合格体験記を読んでみてほしい。



第一志望合格を目指して

倉井 優 （平成 21 年度卒・新潟大学教育学部幼児教育科）

北越高校に入学したての頃は、新しいクラスメート、初めての電車通学、勉強となかなか新しい生活に慣れず、大変な毎日でした。だからなおさら、自分が新潟大学を受験することになるなんて想像できませんでした。高校に慣れ始めると、毎日が楽しくなりましたが、それと同時に特進コースだからこその他のクラスよりも多く勉強しなければならないことに疑問を感じていました。受験生でもない自分がなぜ？と思っていました。自分以上にがんばっている人はたくさんいると分かっているけど、友達が自由に遊んでいるのを間近で見るとうらやましく思いました。

北越での 3 年間で 1 番楽しかったのも 1 番つらかったのも 3 年生の時でした。そんな大変な時期を乗り越えられたのも特進コースのみんなや先生方のおかげでした。3 年間一緒にがんばってきた特進コースの 2 クラスのみんなは目指す目標はさまざまでしたが、それぞれの第一志望に向けてがんばるという気持ちのつながりを感じていました。朝早く学校へ来て勉強する人や放課後遅くまで残り教室や自習室で勉強する人を見ると焦りを感じましたが、その焦りが自分のやる気になりました。互いに励まし合い、高め合える友達が周りにいたことはとても幸運なことでした。またたくさんの先生方にも何度も助けていただきました。1、2 年の頃から言われ続けられたことや、あの時意味も見出せずにいやいややっていた勉強も今となっては自分のためであり、それがどんなに大事なことだったのか思い知らされます。ですが、たくさんの人からの支えにうれしさを感じながらも同じくらいのプレッシャーも感じました。そんな時に「自分を信じて」とか「今までの努力を思い出して」とか言われても自分の中に少しでも逃げたり怠けた記憶があるとそれがちらついて自分の力が出せなくなるのです。その逃げたり怠けたりした記憶はきっと自分にしかわからないことだけれど、その後ろめたさはどこまでもつきまといます。ですが、みんな完璧に後悔なくできるわけがありません。だから自分が逃げずにやりきったというものが 1 つでもあれば、後になってそれが自分の励みになると思います。

他にも 3 年生になって受験のことで何度もなく悩みました。その度に勉強する手が止まり時間を無駄にしてしまいました。でも自分がやってきたことを 1 番よく知っているのは自分しかいないわけで、自

分を奮い立たせられるのも自分だけなのです。友達、先生、家族も最大限の力を貸してくれるけれど、結局受験は自分との闘いなのだ実感しました。私は本当にずっと自分の気持ちが定まらず、たくさんの時間を無駄にしました。そのようなことがないように、先生や親は早い時期から私たちにいるいろいろなことを言ってくれます。ですがそういうことは頭では分かっているけども納得してすぐには実行はできないと思います。自分で経験して初めて納得できるものだと思います。だからと言って手遅れになってからでは遅いのです。やるべきときにやらなければいけないのです。合格した今だからこそ言えることですが本当に1日1日が大切だと思います。高校生は1番自由で楽しい時期ですが、自由であるからこそその責任もあります。自分の将来を決める重要な一歩があります。私はそんな時間を北越でこの特進コースのみんなと、先生方と過ごせてよかったです。(字体変更及び下線は引用者による)

1学期期末考査が約1週間後に迫ってきた。

計画を立てて準備は進んでいるだろうか。

以前もメッセージしたが、1年次の頑張り、ただ目の前のテストをクリアするだけが目的なのではない。2年後の自らの進路に直結する頑張りなのだ。先輩が強く言っているように「やるべきときにやらなければならない」のだ。そして、「意味も見いだせず嫌々やっていた」としても、それを「やるか」、「逃げる」(やらないのではない「逃げる」のだ)かで、自分の人生の可能性が大きく変わってくる。そのことを今回の先輩の合格体験記は如実(によじつ)に語ってくれている。

もう一つ、この体験記から学ぶべきことは、「周り」の環境だ。先輩は言う、「互いに励まし合い、高め合える友達が周りにいたことはとても幸運なことでした」と。彼女は特進コースだが、コースは関係ない。君の周りは「期末頑張りようぜ!」という空気があるだろうか。ライバルの存在は大きいぞ。クラストップを争うライバル、点数を競い合っている友達、今度こそ赤点を脱出するぞと意気込む友人、そういう前へ進もうとする仲間がいるかいなか、それも夢の実現を左右する大きな要因だ。

後ろ向きな仲間となれ合って、徐々にバック走行のスピードを上げている者はいないか?

中学時代の友人と相変わらずつるむことで、目の前の楽しみばかり追いかけて、いつまでたっても自分自身を高めようとしなない者はいないか?

1学期の評価は今回の期末考査によって確定する。中間考査は重要であるが、まだ1学期の評価は未確定なのだ。だから挽回可能だ。

自分の目的のために、自分の未来の可能性のために、夏休み自分のやりたいことに集中するために、

**やるべきときには、やらなければならないのだ
だから、頑張りなれ!**

□ 今週以降の予定 □

25日(土) 特進コース プレ模試 ※普通コース 土曜講座なし

30日(木) 眼科検診(13:30~)

7月1日(金)~6日(水) 1学期期末考査

今回から

「裏面の部」

始めます!